平成 24 年 4 月 25 日

各　　位

会社名　　三菱重工業株式会社
代表者　　取締役社長　大宮　英明
（コード番号 7011）
上場取引所　東　大　名　福　札
問合せ責任者　総務部長　近藤　孝司
（TEL03-6716-3111）

当社子会社（三菱航空機株式会社）の発表に関するお知らせ

当社子会社である三菱航空機株式会社（取締役社長：江川豪雄、本社：愛知県名古屋市）は、本日、「ＭＲＪ　スケジュールの見直しについて」を発表いたしましたので、添付のとおりお知らせいたします。

なお、本件による平成 24 年３月期連結業績への影響はありません。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上

添付

三菱航空機株式会社

三菱航空機ニュース No. 21

2012 年 4 月 25 日

ＭＲＪ　スケジュールの見直しについて

ＭＲＪが参入を目指す 70 席～100 席クラスのリージョナルジェット機の需要は、今後 20 年間に世界で 5,000 機以上と想定されております。三菱航空機では、2008 年の営業開始以降、リージョナル機市場へ新たに参入し、世界市場に積極的な販売活動を展開して参りました。この結果、ＭＲＪは新しい技術を採用し、燃費効率、環境性能、客室快適性で競合他社機に対し圧倒的な競争力を有する唯一の「次世代機」と評価され、世界の航空会社から大きな期待を受けております。

今回、現状の開発並びに製造作業の進捗を踏まえて慎重に検討を行い、試験機の初飛行時期等を次のとおり変更いたします。

１．試験機の初飛行は、以下の理由により、2013 年度第 3 四半期といたします。

①製造工程の見直し及び確認作業に多大な時間を要している

②開発段階での各種技術検討に多大な時間を要している

詳細な飛行時期は、後日、ロールアウト式典などのイベント等にあわせ発表いたします。

２．量産初号機納入は 2015 年度の半ばから後半といたします。

但し、今後の開発においてスケジュール短縮の施策を強力に推進し、量産初号機納入の前倒しに注力します。また、量産段階での更なる生産規模の拡大の検討も併せて行います。

ＭＲＪ搭載エンジンは、米国 Pratt and Whitney 社で設計・開発が進められています。今月末から試験用航空機にテストエンジン（PW1217G）を搭載して飛行試験を開始する予定で、順調に開発が進められています。

新しい世界標準を創造する民間旅客機、圧倒的に性能が優れ、革新的な航空機であるＭＲＪを、お客様の競争力と収益力に貢献するゲームチェンジャーとすべく、引き続き、全力で開発に邁進して参ります。

以　上

ＭＲＪについて

三菱リージョナルジェット(ＭＲＪ)は三菱航空機が開発する 70～90 席クラスの次世代民間旅客機。世界最先端の空力設計技術、騒音解析技術などの適用と、最新鋭エンジンの採用により、大幅な燃費低減と騒音・排出ガスの削減を実現。圧倒的な運航経済性と環境適合性により、エアラインの競争力と収益力の向上に大きく貢献する。また、1 列 4 席の配置、大型のオーバーヘッド・ビンの装備、新型スリムシートなどの採用により、これまでのリージョナルジェット機にはない快適な客室空間を提供する。